

令和2年度第1回 大和市社会教育委員会議定例会（第31期）書面会議録

会議名（審議会等の名称）		令和2年度第1回 大和市社会教育委員会議定例会（第31期）
開催日時		令和2年4月27日（月曜日）
開催場所		書面開催
出席状況 （回答状況）	委員	11人：伊藤委員、今宮委員、大澤委員、尾辻委員、久津間委員、齋藤（正）委員、齋藤（道）委員、中山委員、長谷部委員、丸田委員、三好委員
	関係各課	5人：文化スポーツ部長、文化振興課長、図書・学び交流課長、スポーツ課長、こども部こども・青少年課長
	事務局	2人：文化スポーツ部図書・学び交流課学び交流係長、同係員1人 学び交流係（259-6104）
	傍聴人数	一人（書面開催のため傍聴無し）
公開・非公開の状況		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
審議又は検討経過及び結果		<p>1 会議次第</p> <p>（1）報告事項</p> <p>1）大和市文化創造拠点等の指定管理の更新について</p> <p>2）令和2年度社会教育関係の主要な事業について</p> <p>（2）協議事項</p> <p>1）令和2年度社会教育関係団体への補助金について</p> <p>2）令和2年度社会教育委員会議から選出する委員について</p> <p>3）令和2年度社会教育委員に関する研修会等について</p> <p>4）家庭教育支援に関する事業について</p> <p>（3）その他</p> <p>2 審議及び結果</p> <p>主な内容は次のとおり</p> <p><報告事項></p> <p>1）大和市文化創造拠点等の指定管理の更新について</p> <p>2）令和2年度社会教育関係の主要な事業について</p> <p><協議事項></p> <p>1）令和2年度社会教育関係団体への補助金について 賛成11、反対0</p> <p>2）令和2年度社会教育委員会議から選出する委員について 賛成11、反対0</p> <p>3）令和2年度社会教育委員に関する研修会等について</p> <p>研修会等参加者について、以下のとおり決定。</p> <p>1. 県社会教育委員連絡協議会総会：全員</p> <p>2. 県社会教育委員連絡協議会研修会：丸田議長・尾辻委員</p> <p>3. 社会教育委員連絡会議：丸田議長・今宮委員・齋藤（道）委員</p> <p>4. 県社会教育委員連絡協議会地区研究会（葉山町）：大澤委員・齋藤（正）委員</p> <p>5. 知ることからはじめる人権啓発研修講座：齋藤（道）委員・長谷部委員 三好委員</p> <p>6. 県公民館連絡協議会第62回県公民館大会：齋藤（正）委員・中山委員</p> <p>7. 県社会教育委員連絡協議会地区研究会（山北町）：尾辻委員・伊藤委員 三好委員</p> <p>4）家庭教育支援に関する事業について 賛成11、反対0</p> <p><その他></p> <p>特になし</p> <p>【結果】</p> <p>協議事項はすべて、過半数の賛成をもって承認されました。</p>

社会教育委員からの主な意見・質問は以下のとおり

<報告事項>

1) 大和市文化創造拠点等の指定管理の更新について

【意見】

- ・指定管理の更新スケジュールについては了解した。
- ・これまでの5年間の指定管理者による運営について、市民の声はどうだったのか。運営がマンネリ化しないよう、行政の看視をお願いする。
- ・市内の施設を一括して指定管理することは良いことであるが、現在各学習センター毎に利用料の入金時間等に差異があるため、統一した運用が良いと思われる。
- ・一括して委ねることで、市との連絡等スムーズに行うことができ、施設が一層利用しやすくなることを期待する。
- ・シリウス2階の市民交流ラウンジの料金改定について詳しく知りたい。
- ・特に意見なし

2) 令和2年度社会教育関係の主要な事業について

【意見】

- ・生涯学習振興補助金の事業について、複数応募の際の分配方法は、事業の予算規模によっても配慮があるとよいと考える。
- ・それぞれの事業が意義のあることであり、予算配分も適切と思われる。
- ・つる舞の里歴史資料館を知らない人も多いため、自治会等を通じて宣伝（広報）をしてほしい。

【質問】

- ・社会教育費の青少年育成費が約1億6千万の減となっているが、その理由が資料から読み取れなかった。他の項目は理解した。

→回答)

平成31年度に旧青少年センターの解体工事(旧青少年センター解体事業の当初予算額:約1億2,470万円)を行ない、事業が終了したこと、令和2年度から放課後子ども教室(放課後子ども教室管理運営事業の当初予算額:4,545万円)が教育委員会指導室に事業移管されたことなどにより、令和2年度予算では青少年育成費が減額となりました。

- ・開始年度の違いで大和市文化祭と大和市さくら文芸祭の2つの事業があるが、場所は2ヶ所にしても、事業の一本化により予算も削減できるのではないかと思う。そのような議論がなされたことはないか、担当課の意見を伺いたい。

→回答)

大和市さくら文芸祭一般公募展「短歌・俳句・川柳」の各部門は、元々大和市文化祭一般公募展「絵画・書・写真」と同時に開催をしていましたが、この時期に集中する膨大な事務量を分散させることや複数の展示会場を長期間占有することに対する利用団体への配慮のため、平成18年度より部門を分けて開催をしております。

春の文芸イベントとして広く定着をしていることから、継続して開催して

まいります。

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、事業の縮小や中止を余儀なくされる事も十分に考えられることから、予算を市民に対して有効に活用されることを望む。
- ・事業予算について、ほぼ全ての催しが中止となっているが、予算額の変動はあるのか。

→回答)

新型コロナウイルス感染症の影響で催しが中止となり、未執行となった事業費は、他の経費に使用しないこととされています。

<協議事項>

1) 令和2年度社会教育関係団体への補助金について

【意見】

- ・補助金には賛成する。ただし、感染症対策のために予定されていた内容が変更・縮小された場合などに備え、柔軟な対応が必要と考える。
- ・今回のような非常時の対応についても今後取りうる対策を各団体で事前に考えておくことが良いのではないかと思う。
- ・子ども会や母親クラブは、各ブロックでは実施されているかもしれないが、市民まつりや納涼祭等でのバザーや販売事業等の財源確保を自主的に行うことで、その組織の存在意義や、会員の親睦も広がると思う。
- ・事業及び活動報告について意見等なし。
- ・会計報告について意見等なし。

【質問】

- ・青少年指導員連絡協議会の補助金額（前年比）+83,000円は、活動保険料、市外旅費分という理解でよいか。

→回答)

市の特別職非常勤職員であった青少年指導員が、令和2年度から教育行政協力員となったため、地方公務員災害補償制度の適用対象とならなくなり、その代わりとなる活動保険の料金と市外旅費分を補助金額に計上したものです。

- ・昨年度も気づいていたが、大和市の青少年育成団体運営費補助金交付要綱によると、各団体組織運営費の2分の1以内とあるが、青少年指導員と母親クラブには2分の1以上の補助金を拠出していることになるため、要綱の改正を行うか、団体の運営費を高くする活動を考えていただくかのどちらかだと思いがいがか。

→回答)

両団体への補助については、要綱の規定の範囲内で行っております。しかし、要綱上の運営費に該当するものを予算書上では運営費と別に記載してしまっているため、来年度の予算書作成に当たっては、適正に記載されるよう指導してまいります。

2) 令和2年度社会教育委員会議から選出する委員について

以下のとおり決定。

生涯学習振興基金審査委員（任期1年：令和2年6月1日～）

・・・大澤委員、尾辻委員、三好委員

青少年問題協議会委員（任期2年：令和2年6月1日～）

・・・丸田議長

神奈川県社会教育委員連絡協議会理事（任期1年：令和2年6月1日～）

・・・丸田議長

大和市郷土民家園の指定管理者選定委員会委員（任期：令和2年7月1日～指定管理者の選定終了まで）・・・齋藤（道）委員

【意見】

- ・色々な協議会に出席し、研究してみたい。
- ・各協議会等の委員の選考基準があれば参考資料としていただきたい。
（社会教育委員から、議長充て職等）
- ・特に意見はありませんが、引き続き選出委員さんにはよろしくお願い致します。
- ・今年度も宜しくお願いします。

3) 令和2年度社会教育委員に関する研修会等について

【質問】

- ・神奈川県社会教育委員連絡協議会総会は延期となる可能性もあるか。

一回答)

現時点では書面総会を予定しているとの県から回答がありました。

また、8月末予定の研修会は延期とのことです。

4) 家庭教育支援に関する事業について

【意見】

- ・家庭教育支援事業を開催することには賛成するが、新型コロナウイルスの影響もあり、非常に難しい選択である。長引くようであれば今年度は見送りがよいと思う。開催できるようであれば、今年度に限り後期（1月～3月）の実施が良い。今回は南部のコミュニティセンターの予定となっているが、南部であれば地域の特性を生かした引地川を使った事業内容が良いと思う。（コロナ終息の条件付で賛成）
- ・現状では中期（9月～12月）実施が新型コロナの影響で厳しいと思われる。今後はこの在宅学習期間において親として何ができ、何ができなかったのか等を検証し、これから同じようなことが起こった場合のヒントになるような講座を検証するのも良いかと思う。（今年度の講座については賛成）
- ・椅子に座り講義を聞くだけのものより、屋外での活動があると受講者には印象深いようです。今年度は新型コロナによる自宅待機後の事業なので、家庭における親子間の変化の有無など受講者側からの意見や思いが沢山引き出せるのではないか。そこから発展させて親としてどうあるべきか、学習のねらいに沿って導けるのではと思う。
- ・外へ出るとイベント的になってしまい、子どもが参加する場合は内容がぼやけてしまう等と感じた。与える教えから、考えを引き出す教育環境への

	<p>関わり方などを検討してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画全般には賛成する。2019 年度「自然体験」プロのガイドは素晴らしかった。またあの講師か、同じような立場の方に継続してお願いできたらよいのではないだろうか。 ・昨年は「身近な自然を体験」をテーマに実施したが、今年度も同様のテーマで調整していきたい。 ・事業は重視するが、現況を鑑みると開催はハードルが高いと思う。 ・1年目は草柳コミセンだけで行い、2年目は柳橋小に参加いただいた。3年目は南部2小学校の協力を得て行いたい。 ・こどもの教育は親が本気になり、小学校高学年よりどのように人生を歩むかを考え、目的に沿った教育をするよう指導する。先んずれば人を制す。 ・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で事業実施が危ぶまれているが、実施する方向で良いと思う。事業企画案にある学習のねらいは的を得た内容であると思う。本年度は十分に話し合う機会もあり取れないため、立案書に則って実施することに賛成する。 <p>しかし、いつまでも行政と社会教育委員が実施主体では大和市の社会教育は伸びていかないと思う。行政と社会教育委員が企画したことを広げていかなければならないと感じている。本来は社会教育委員が社会教育計画を行政に提案し、それを行政が実施へと進めていく。(大和市が目指す社会教育に向けて) 行政が団体に働きかけ、指導助言していくやり方も1つの方法かと思う。</p> <p>(市) 各委員からの意見を踏まえ、今年度の家庭教育支援事業については現時点で中止とはしないが、新型コロナウイルス感染症の状況により、今後中止することも十分考えられる。</p> <p>今年度は下期(1月～3月)に南部で開催予定とし、半年前には講師調整が必要なこと、12月までに受講者募集の広報周知を行うこと等から事業の実施可否についての判断を、次回の第2回社会教育委員会議(7月頃を予定)にて再度検討することとしたい。</p> <p>以上で議事を終わる。 <閉会></p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大和市文化創造拠点等の指定管理の更新について ・令和2年度社会教育関係の主要な事業 ・令和2年度社会教育関係団体への補助金 ・社会教育関係団体の令和元年度事業報告・決算報告(4団体)、令和2年度事業計画・予算(4団体) ・令和2年度社会教育委員会議から選出する委員 ・令和2年度社会教育委員に関する研修会等 ・家庭教育支援事業企画立案書